

伊敷団地まちづくりニュース

第
3号

～団地活性化のためのアイデアを出し合いました～

令和元年5月23日発行

市では、若者から高齢者まで多様な世代が暮らす活力ある団地づくりを目指して、30年度からの約3年間で、具体的な取り組みについて検討を進めています。

今回は、4月23日に開催した第3回ワークショップの概要についてご紹介いたします。

第3回ワークショップ

日時：4月23日（火）19時～21時

場所：西伊敷校区公民館

第3回ワークショップの流れ

伊敷団地の魅力や課題を出し合い、団地活性化のためのアイデアについて意見交換しました。

① 前回のふりかえり

前回までに出し合った伊敷団地の魅力・課題をおさらいしました。

② 団地の魅力・課題をまとめる

伊敷団地の魅力と課題について、参加者がそれぞれ優先度の高い順に意見を出し合いました。

③ 何ができるかについて話し合う

魅力を伸ばし課題を改善していくため、伊敷団地の活性化のためのアイデアについて意見交換しました。

④ 発表

グループごとに話し合った内容を発表しました。

⑤ まとめ（投票）

各々が良いと思ったアイデアに対して、全員で投票を行いました。



話し合いの様子



発表の様子

次回は、時間をかけて実現できそうな取り組みや、「はじめの一步」として今すぐにできる取り組みについて、話し合いを行います。

次回のお知らせ

【第4回ワークショップ】団地のこれからの取り組みを考えよう！

日時：令和元年7月4日（木）19時～21時

場所：西伊敷福祉館 ※第3回までとは開催場所が異なります

皆様のご参加、ご意見お待ちしております！

※ワークショップとは…話し合いを通して、自由なコミュニケーションを行いながら、何かを作り上げていく手法の一つです

グループワーク ～団地をこうしたい！何ができるか考えよう～

前半では、参加者が、伊敷団地の「魅力だと思うこと」・「課題だと思うこと」について、優先度が高い順に意見を出し合いました。

後半では、出し合った伊敷団地の魅力や課題に対して、「魅力」を活かしてできる取組み、「課題」を克服できる取組みについて、アイデアを出し合いました。

■：魅力だと思うこと

■：課題だと思うこと

地域活動・コミュニティ

《団地の魅力・課題》

■ 近所づきあいが活発

- ・ 地域の方が明るい
- ・ 人とのつながりがある
- ・ 同世代が多く話がしやすい
- ・ 子育てを通じた知り合いが多い
- ・ 子供や高齢者がよく挨拶をする

■ 地域行事が充実している

- ・ 地域の活動が活発
- ・ 行事が充実している



■ 世代間交流の減少

- ・ 世代を超えたつながりが少ない
- ・ 若者が少なくなり活気がない
- ・ 若者の地域活動への参加が少ない
- ・ 集会所が少ない



■ 空き家増加、高齢者への不安

- ・ 空き家が増えた
- ・ 空き家、空き地の荒廃
- ・ 一人暮らしの高齢者が多い
- ・ 人が少なくなり防犯が心配



■ 地域の担い手不足

- ・ 町内会役員の担い手がいない
- ・ 男性が地域活動に消極的
- ・ 子供、若者が減った



■ 子育て世帯の転入者が増加

- ・ 子育て世帯が増えてきている
- ・ 若い人の受け入れを歓迎している



《取組みのアイデア》

【日々の取組みを通じたつながりづくり】

- ・ 挨拶競争をやってみる
- ・ 近所の方への声かけ、交流
- ・ 近隣住民で困っていることを助け合う
- ・ 豊かな自然を活かして皆で花壇をつくる
- ・ 公園等の清掃活動

【地域行事を通じた世代間交流】

- ・ 世代間交流ができるイベントの企画
- ・ 地域行事の時間を変えて、若者等が参加しやすくする
- ・ 若者の協力にて高齢者へインターネット等の使い方教室を開く
- ・ 学生にも夏祭りの実行委員をお願いする
- ・ 学校、子供の行事への住民参加

【空き家を活用した交流拠点づくり】

- ・ 「てのんで・かふえ」のような取組みを増やす
- ・ タイヨーにイートインスペースの設置をお願いする
- ・ 空き家を活用した「集う場」をつくる
- ・ 空き家を活用したコミュニティづくり
- ・ 空き家相談窓口の設置

【町内会運営の工夫】

- ・ 町内会、あいご会の運営を簡素化する
- ・ 回覧板等の地域内での広報の充実

交通の利便性

《団地の魅力・課題》

■ 車による交通の便が良い

- ・車での交通の便が良い
- ・高速道路の入口が近く便利



■ バスの利便性の低下

- ・以前よりもバスの便が減った
- ・早朝や深夜のバス便がなく不便
- ・市街地まで時間がかかる
- ・バス停が少ない
- ・車以外の移動手段が少ない
- ・車の運転ができなくなった時が心配



《取組みのアイデア》

【バス便の見直し、乗合タクシーの導入】

- ・バスの最終便を22時30分に見直す
- ・始発の新幹線に間に合うバス便の導入
- ・団地内回遊バスの導入
- ・乗合タクシーの導入
- ・便によってバス停の位置を変更する



生活の利便性(商店、飲食店、銀行など)

《団地の魅力・課題》

■ 中心部に賑わいがある

- ・団地中心部に賑わいがある
- ・団地内で生活が完結できる
- ・スーパー、銀行が近い
- ・福祉施設が多い



■ 商店、飲食店が不便

- ・商店が一部地域に集中
- ・全体的に飲食店等が少ない
- ・中心地から離れている所は買い物が不便
- ・お店の選択肢が少ない
- ・病院が少ない



■ 交番がない、空き家増加

- ・交番がなくなった
- ・管理不全の空き家、空き地が増えた



■ 文化施設の不足

- ・文化的施設がない
- ・図書館、本屋がない



■ 防犯の取組がある

- ・パトロール活動がある(青パト)
- ・子供の見守り活動をしている



《取組みのアイデア》

【空き家活用や地域による買い物支援】

- ・空き店舗の利用(配達所、販売所)
- ・買い物代行
- ・空き家を活用し若い人に出店してもらう
- ・できるだけ個人商店を利用する
- ・おじいちゃん食堂を企画
- ・住宅地の用途地域の見直し(規制緩和)

【文化施設の誘致】

- ・移動図書館を呼ぶ
- ・多目的図書館をつくる
- ・空き家に文化施設を誘致

【防犯の取組】

- ・パトロールもかねたバスの代わりにするものを導入する
- ・警察にパトロールを強化してもらう
- ・町内会単位で世帯の確認をする
- ・空き家のパトロール

まちなみ・住環境

《団地の魅力・課題》

- 豊かな自然、公園が多い、閑静な住宅街
 - ・家の庭木、花が綺麗に手入れされている
 - ・緑が多い
 - ・公園が沢山ある
 - ・静かな住環境
 - ・桜島が見える
 - ・蛍がいる
 - ・地価が安い



《取組みのアイデア》

【団地の魅力を発信】

- ・SNS を用いて活動を団地外にアピール
- ・学生の協力にて自然環境や人の良さなどの魅力を発信（インスタ等）
- ・地価が安い点を不動産屋さんに PR

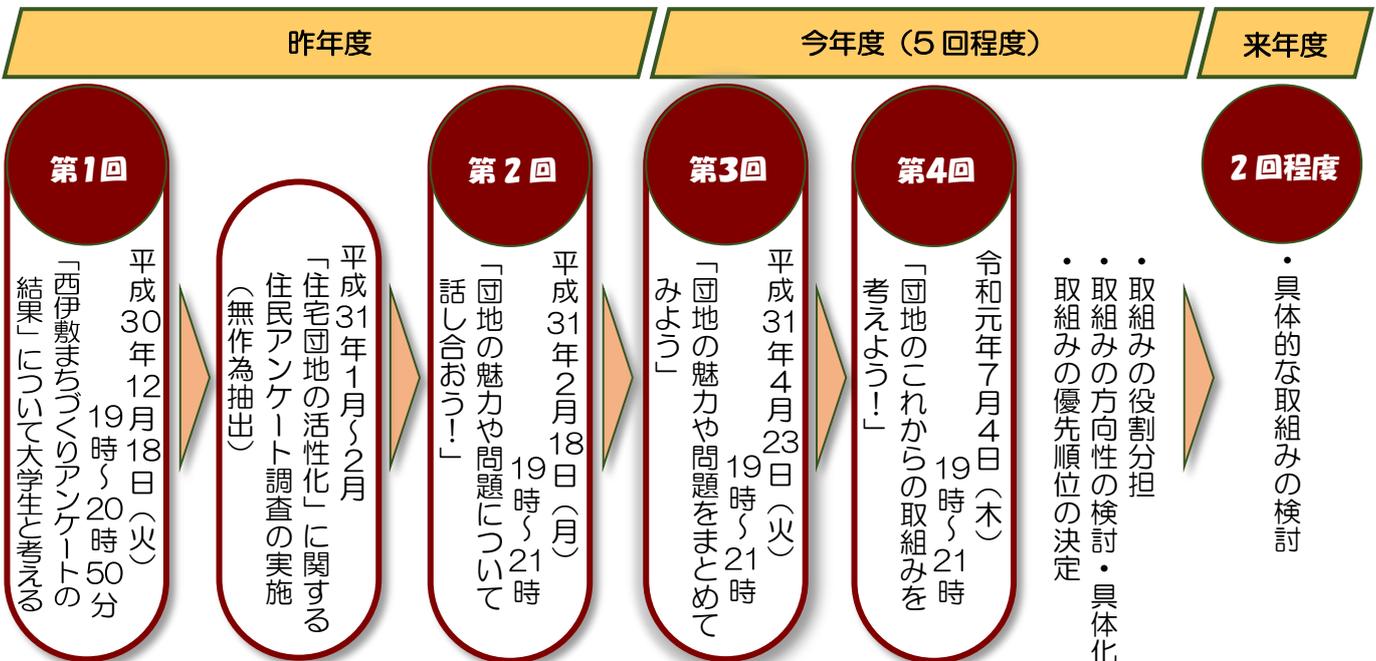


・その他にも「ワークショップを実施中の3つの団地間で連携できるような仕掛けが必要」・「団地間の交流イベントを企画する」などの意見が挙げられました。

今後の予定

今年度は、ワークショップを5回程度予定しています。地域の皆様と意見交換を行いながら、伊敷団地の活性化に向けた「具体的な取組み」について検討していきます。

■ 検討スケジュール（ワークショップ等）



- 鹿児島市 都市計画課（担当：井上、諏訪田、宮）
 連絡先：099-216-1378 FAX：099-216-1398
 メール：toshikeikaku@city.kagoshima.lg.jp
- ランドブレイン株式会社 鹿児島事務所（業務受託事業者）
 連絡先：099-210-9091（担当：大脇、岩切）